

ケーブル絶縁抵抗測定・監視装置

概 要

通信ケーブルの絶縁抵抗値を自動で計測、検査を行いケーブルの保全をサポートします。

絶縁抵抗値が限界設定よりも低下した際は警報出力を行うことができます。その計測データはネットワークを経由して提供することもできます。



特 長

絶縁抵抗測定機能

標準で4回線、最大6回線までの通信ケーブルを監視、測定を行えます。絶縁抵抗測定はL1-E、L2-E、L1-L2の3種類となります。

位置測定機能

ケーブル断線検知時に断線位置及び絶縁不良位置の測定機能から故障箇所の特特定をサポートします。

データ定期出力機能

計測データはSDカードへが保存されます。

そのデータはネットワーク経由し一定間隔毎に伝送することができます。

(伝送プロトコル：SNMP 伝送間隔：正常時1時間/故障時10分)



永楽電気株式会社